

ボトルのまま、アゼナから、水口から!!

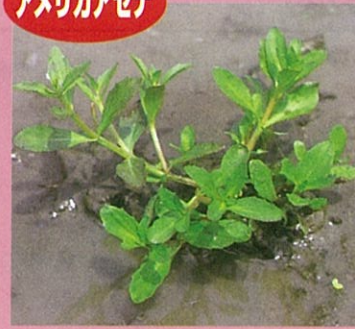
クログワイ



アゼナ



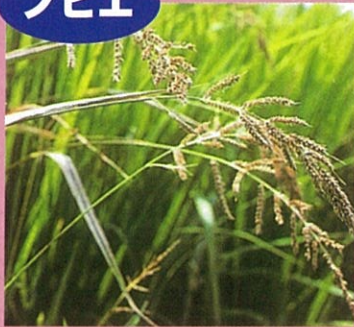
アメリカアゼナ



ホタルイ



ノビエ



コナギ



ミスガヤツリ



アゼナ、ホタルイもOK!

特長

- クログワイにすぐれた効果……クログワイに対して、発生前の処理ですぐれた効果を発揮します。
- ホタルイ、アゼナ類にも卓効……従来の一発剤で効きにくくなったホタルイやアゼナ類に対しても高い効果が期待できます。
- 持続効果にすぐれ、安定した除草効果……効果の持続期間が長く、広範囲の雑草を一定期間的確に防除します。
- 原液散布で省力・簡単……水中拡散性にすぐれ、畦畔からの手振り散布のほか、水口施用もできます。
- 移植水稻に対する影響が少ない……移植直後処理でも水稻に対し薬害が少なく、田植同時処理も可能です。



水稻用初期除草剤

シヨキニー®

フロアブル

自然に学び自然を守る



カセイ

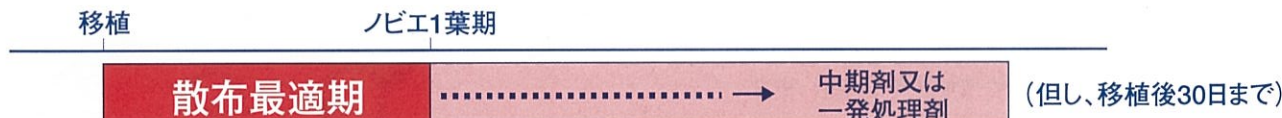
【適用雑草と使用方法】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水 稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ	移植時	500ml/10a	1回	田植同時散布機で施用
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	移植直後～ ノビエ1葉期 但し、移植後30日 まで			原液湛水散布 又は水口施用
			300ml/10a (少量散布)		原液湛水散布

プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

【使用時期】

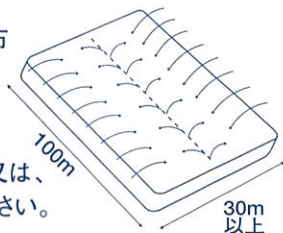
〔散布適期〕



【散布方法】

〔手振り散布〕…〔500ml散布・少量散布(300ml)〕

- キャップを開け、畦畔を歩きながらボトルを振って原液を直接、水田へ散布してください。
- およその目安として3～4m(少量散布の場合は5～6m) 歩くごとに1回、振り込んでください。
- 水田の幅が30mをこえる圃場では、畦畔からの散布に加え中央に一条又は、水田の幅に応じて数条散布してください。



〔水口施用〕…〔500ml散布のみ〕

- 圃場の水深を浅水状態にして、水尻をしっかりと閉じてください。
- 水口を開き、薬剤を注ぎ、流入水の勢いとともに水田全体に拡散させてください。
- 田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達したら水口をしっかりと閉じ、田面水があふれ出ないように注意してください。



*水口が数カ所ある大きな水田では、薬剤を分割して、それぞれの水口に薬剤を注いでください。

⚠使用上の注意事項

- 本剤は貯蔵中に分離することがありますので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育始期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失しないように散布してください。ホタルイに対しては1葉期まで、ミズガヤツリに対しては発生始期まで、クログワイに対しては発生前が本剤の散布適期です。
- クログワイに対しては発生期間が長く、遅い発生のものには効果を示さないもので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように代かきおよび植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の場合は、湛水状態(水深3～5cm)で水の出入りを止めて散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。

- 水口施用の場合は、入水時に水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 散布または水口処理後、少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 軟弱徒長苗を移植した水田、極端な浅植えや深植えをした水田、砂質土で漏水の大きな水田では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意をしてください。

本資料は平成27年8月現在の知見に基づき作成しております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌に記帳しましょう。